

～COP10パートナーシップ事業～

農林水産業と生物多様性 シンポジウム in 東北!

農業は、自然の循環機能を利用し、私たちの生存に必要な食料などを供給する必要不可欠な生産活動であるとともに、昔から農業の営みが私たちにとって身近な自然環境を形成し、多様な生物が生息・生育するうえで重要な役割を果たしてきました。

2010年は国連が定める生物多様性年であり、10月には愛知県で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されるなど、生物多様性分野において意義のある年となることから、この機会にシンポジウムを開催して農林水産業と生物多様性のつながりを皆様と一緒に考えたいと思います。

主催 農林水産省

開催日時 平成22年9月9日(木曜日) 13:30～16:30 (開場:12:30)

開催場所 大崎市田尻文化センター(宮城県大崎市田尻沼部字富岡166 0229-39-2551)

プログラム(予定)

□あいさつ

□基調講演

“農林水産分野における生物多様性～生きもの提言～”(仮題)

講師: 松本 聡(財団法人 日本土壌協会会長、東京大学名誉教授)

□パネルディスカッション

“田んぼ・農業が豊かな生きものを育てていることを発信しよう”(仮題)

プレゼンテーション(田んぼの生きもの調査成果の報告)

山村 恭治(田尻田んぼの生きもの調査プロジェクト)

調査結果へのコメントと講評

岩淵 成紀(NPO法人田んぼ理事長)

パネルディスカッション

コーディネーター: 松本 聡(財団法人 日本土壌協会会長、東京大学名誉教授)

パネラー: 山村 恭治(田尻田んぼの生きもの調査プロジェクト)、岩淵 成紀(NPO法人田んぼ理事長)、

あん・まくどなど(国際連合大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長)、

岡本 明子(環境カウンセラー・主婦)、佐々木 陽悦(農業者、全国環境保全型農業推進会議委員)、

竹内 純子(東京電力株式会社 尾瀬保護活動担当)

応募方法 ファックスまたはインターネットからお申し込みください(入場無料、定員300名、9月2日締切)

農業者の皆さん、田んぼのカエルや水路の魚、蛙を飛ぶ赤とんぼといった農業の現場にいる生きものに目を向け、田んぼは農産物と同時に多くの生きものを育てていること、自分たちが地域の多様な文化の担い手であることを、誇りを持って発信してみましょう。

消費者の皆さん、田んぼに出かけてみませんか。そこに住む生きものにまなざしを向け、その環境を保っている地域の農業に触れてみると食と生物多様性のつながりが見えてくるのではないのでしょうか。

～COP10パートナーシップ事業～ 農林水産業と生物多様性

に関するシンポジウム

9/9
(木)


13:30～16:30


～田んぼ・農業が豊かな生きものを育てている
ことを発信しよう～


in 東北!

生物多様性の恵み

地球上には、さまざまな環境に適応して進化した、3000万種ともいわれる多様な生きものがいます。こうした生きものの「個性」と「つながり」、すなわち生物多様性が維持されることにより、私たちはさまざまな恩恵を受けています。

 生きものが生み出す大気と水
例: 酸素の創出、水や養分の循環、豊かな土壌、気温の調整

 暮らしの基礎
例: 食べ物、木材、医薬品、品種改良

 生きものと文化の多様性
例: 自然と共生してきた智恵と伝統、地域性豊かな風土

生物多様性の危機


しかし、こうしたさまざまな恩恵を私たちに与えてくれる生物多様性が、現在危機に瀕しています。


人間による開発や乱獲、耕作放棄の増加により、生きものの種が減少してしまっていたり、外来種が持ち込まれ、適切に管理されなかった結果、もともと日本にいた在来種の減少が見られたりします。

COP10/MOP5



本年2010年は国連の定めた生物多様性年です。そして、10月には生物多様性の保全と持続可能な利用について、世界各国の関係者が集まって話し合う会議(生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)及びカルタヘナ議定書第5回締約国会議(MOP5))が愛知県名古屋市で開催されます。

 MOP5 2010年10月11日(月)～15日(金)

 COP10 2010年10月18日(月)～29日(金)

会場案内

大崎市田尻文化センター

(住所)宮城県大崎市田尻沼部字富岡166 TEL:0229-39-2551





公共交通機関 でお越しの場合


JR田尻駅より徒歩約5分

お車でお越しの場合

田尻文化センターの駐車場に駐車をお願いします。満車の場合は、総合体育館の駐車場に駐車をお願いします。

農林水産業と生物多様性 に関するシンポジウムin東北 参加FAX申込書

 入場無料  定員300名 申込日: 月 日

 9月2日(木)申込締切

参加者が300名を超えた場合には、会場の都合により登録を締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。当日は会場正面の専用ブースで受付を済ませてからご入場下さい。

お名前(ふりがな)

所属

お申込み先

ご住所 〒

FAX:022-715-8217

農林水産省東北農政局
資源課

TEL.

FAX.

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
TEL:022-221-6256(ダイヤルイン)

いただいた個人情報は本シンポジウムの連絡以外には一切使用いたしません。